

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		高槻市立めばえ教室					公表日
		令和7年3月13日					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊具の配置など、お子さまの動きに合わせて安全で適切なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		多職種を配置し、お子さまや保護者のニーズや相談に対応できるように配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動の内容が理解しやすいように必要に応じて、視覚的な支援（写真や具体物など）を用いています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎回、療育開始前と終了後に清掃や安全点検を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さまの状況に合わせて、個別に過ごすことができる部屋と場所を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		療育終了後の打ち合わせと職員会議時に、振り返りと改善点について検討する機会を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価票の他に、年度末にアンケートを実施し、いただいたご意見から療育プログラムや業務の改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		療育終了後の打ち合わせと職員会議時に、振り返りと改善点について検討する機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部講師による研修会や、定期的にカンファレンスを開催しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		発達検査や行動観察によるアセスメントを用いて、支援プログラムを作成し、毎月のお便りにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		発達検査や行動調査票を実施するだけでなく、お子さまの様子を観察し、保護者の方から家庭や園での様子をうかがい、計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体でお子さまの様子について報告し、検討・共有する機会を設けています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の把握及び、計画に沿った支援を提供できるように、職員間で共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査や行動調査票を実施しています。お子さまの様子を観察し、家庭や園での様子をうかがい、お子さまの状況を確認しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各支援項目について、お子さまの様子や保護者の方のお話をうかがい、支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		保育士を中心に、各職種からの意見を取り入れて立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		粗大・微細運動、リズム活動、手遊び等を取り入れ、様々な活動に触れる機会を提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		各職種より意見を出し合い、お子さまの発達状況にあった支援を提供できるように作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回、療育開始前に打ち合わせを行い、プログラムの流れ、配慮する点等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎回、療育終了後にカンファレンスを行い、お子さまの様子や保護者からの聴き取り、療育プログラム等の振り返りを行い、職員間で共有する機会を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		お子さまの様子や保護者からの聞き取り等について毎回記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		お子さまの様子や保護者の方のお話やニーズをうかがい、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の要望に応じて連携を行い、お子さまの様子について共有し支援につなげています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		3歳児までを対象としているため行っていません。必要がある場合には連携を行います。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		今後、検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	交流の機会がないため、園庭開放等の情報提供を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育時だけでなく、定期的に個別面談を行い、お子さまや支援内容について共有できるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ベアトレの視点をを用いて、個別面談やグループ懇談を行っています。保護者向けに、ことばの発達や子どもの関わりに関する研修を開催しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約会やオリエンテーション時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者からお話をうかがうことや、お子さまの視点に立って、必要な支援を提案しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		お子さまの様子や発達状況について共通理解を持ちながら、支援内容について説明しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的にも面談を行っていますが、要望に応じて、通室日以外にも個別面談や電話相談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会は開催していないが、グループ懇談の場を設けて、情報共有や交流の時間を作っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対して、個別面談や電話相談にて速やかに対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お便りを発行し、行事予定や療育プログラムについて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		管理や取扱い方法について、職員間で共有し、十分注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまや保護者の方の状況に応じて配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、災害時の避難経路や備蓄の確認を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面接票への記入と看護師より個別にききとりを行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		面接票への記入と看護師より個別にききとりを行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて、定期的に、火災・地震等に関する避難訓練を行い、安全管理に努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		定期的に、火災・地震等に関する避難訓練を行い、避難経路や災害時に対応について周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		療育終了後のカンファレンス時に共有し、改善につなげています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		1歳児～3歳児を対象としているため、身体拘束を行うことはありません。個別対応や環境調整を行い、対応しています。	